

令和 7年 1月 17日

加 賀 市 長

(担当 総務部管財課)

見 積 依 頼 書

下記のとおり見積徴収を行いますので、見積書を提出されるようお願いします。

物 件 名 等	北前船の里資料館 入館者用パンフレット
見積提出期限 及 び 場 所	令和 7 年 1 月 20 日 午前 11 時 30 分 加賀市役所 総務部 管財課
見 積 書 宛 名	加賀市長 宮元 陸
納 入 期 限	令和 7 年 3 月 31 日
納 入 場 所	北前船の里資料館
落 札 方 法	総価落札
注 意 事 項	1 指定日時までに提出されない場合は、見積をご辞退されたものと解釈させていただきます。 2 会社にあっては社印、代表者印を、個人についても記名捺印をお願いいたします。 伺 番 号 第 0000352 号

品 目 明 細

年 度 令和 6 年度

件 名 北前船の里資料館 入館者用パンフレット

伺 番 号 0000352

1 / 1

No.	品 名	印刷製本（単位：部）	分類番号	002-003-000
1	規 格	別紙仕様書のとおり		
	数 量	20,000 部		
No.	品 名		分類番号	
2	規 格			
	数 量			
No.	品 名		分類番号	
3	規 格			
	数 量			
No.	品 名		分類番号	
4	規 格			
	数 量			
No.	品 名		分類番号	
5	規 格			
	数 量			
No.	品 名		分類番号	
6	規 格			
	数 量			
No.	品 名		分類番号	
7	規 格			
	数 量			

印刷仕様書

教育委員会事務局 文化課

件 名	北前船の里資料館 入館者用パンフレット		
紙 質	アラベールホワイト 90 k		
印 刷	両面刷り (4 C)		
規 格	A 4 判 巻三つ折		
形 状			
数 量	20,000 部	校 正	☒ 要 ☐ 否
納入期限	令和 7 年 3 月 3 1 日	納入場所	北前船の里資料館 (橋立町)
その他連絡事項 (校正担当 教育委員会事務局 文化課 神尾) ・加賀市役所の契約担当係から業者決定の連絡を受けてから 2 日以内 (土日祝日を除く) に文化課の担当者に連絡をし、初回の打ち合わせ日を決めること。 ・初回の打ち合わせは文化課担当者に連絡後、3 日以内 (土日祝日を除く) に対面で行うものとし、実際に制作を担当するデザイナーが同席すること。 ・過去のパンフレットで使用した赤茶色やブルー以外のイメージで新規にデザインを作成する。 ・文字原稿はデータ渡し。 ・北前船の里資料館を制作担当のデザイナーが取材し、新規にデザインを提案すること。提案デザインは趣の異なる 2 ～ 3 案を提案する。 ・こちらから提供する画像 (3 ～ 4 点) 以外に必要な画像は新規に制作者側で撮影するものとする。 ・文化課担当者から打ち合わせで伝えるコンセプトを元に基本のデザインを 2 ～ 3 回程度提案し、確定後は 3 回程度の校正。 ・成果物のデータを pdf で納品のこと (HP のサイトに掲載可能な解像度のもの) ・成果物の著作権は受注者に帰属するが、発注者は市のホームページへの公開のため成果物のデータを利用できるものとする。 ・納品は 1,000 部程度ごとに段ボールに梱包すること。(クラフト紙のみは不可) ※窓空き封筒の場合、窓の部分は「グラシン紙」または「植物を原料とするプラスチック」等を使用すること。 ※発注業務にかかる特許等を使用する場合は、受注業者において実施許諾を受けていること。なお、受けている場合は許可番号を表示すること。 ※納入に際しては、事前に本打ち出しの一部を担当課にて確認の上、納入場所へ納入し納品書に受領者印をもらって管財課へお出してください。(原稿は担当課に返してください。) ※納入期限は厳守してください。万一期限内に納入出来ない事情が発生したときは、必ず担当課へ連絡して了解を得てください。			

【パンフレットに入れる文字情報量は以下と同程度となります】

幕府期から明治中期まで瀬戸内、日本海、北海道を舞台に活躍した商船「北前船」に関するさまざまな資料を豪壮な船主邸（明治9年建築）の中で展示公開しております。また、資料館の建つ加賀橋立の地は、船主集落として平成17年12月に国の重要伝統的建造物群保存地区に選ばれました。

北前船とは

江戸時代後半から明治時代にかけて繁栄した商売の形態の中で、大阪と北海道を往復し、莫大な富を得ていました。北前船の商売の特徴は、他人の荷物を運んで運賃を稼ぐのではなく、船主が荷主として各港で物を売り買いしながら航海するという点にあります。そのため、うまく行けば大儲けできますが、失敗すれば大損、それどころか遭難すれば、命の危険にさらされることもありました。まさに「板子一枚下は地獄」といった状況だったのです。

北前船のふる里

加賀市の橋立町には特に北前船主が多く、寛政8年（1796）の記録では、42名の船主の名がみえます。加賀市は船主のふる里と呼ぶにふさわしく、他にも瀬越町、堀屋町など船主が多くて地域があります。

ロマンを語る豪壮な船主邸

資料館の建物は明治9年、橋立町の旧北前船主、酒谷長平が建てた物です。酒谷家は江戸時代から明治時代にかけて、6隻の船を所有し巨額の富を築きました。敷地面積は約1,000坪、オエと呼ばれる30畳の大広間には柱に8寸角のケヤキ、梁には巨大な松、大戸には秋田杉の一枚板など、最高級の建材を使った建物から、北前船で巨万の富を築いた船主の豪勢な暮らしをうかがい知ることができます。広い邸内には北前船に関する貴重な資料がたくさん展示され、解説パネルや音声ガイドなどで分かりやすく見学することができます。



- お車で越しの方は
 - 北陸自動車道 片山津 I.Cより10分
 - 片山津温泉より15分、山代温泉より25分
- 列車で越しの方は
 - JR北陸線加賀温泉駅よりタクシーで15分
 - キャンバスで45分

開館時間 ●午前9:00～ 午後5:00（但し、入館は午後4:30まで）
休 館 日 ●年中無休
入 館 料 ●個人 310円 団体 260円（団体は20名以上）
高齢者（75歳以上）150円
高校生以下および障がいのある方は無料

船を造った船主が語る
橋立のまちなみ
橋立は、江戸後期から明治中期にかけての北前船の隆盛により船主・船客・船乗りが集住した村です。屋敷地を囲む板垣、前庭の石垣、古い茶室といった特徴を持ち、茶室裏庭から運化した「橋立北前船主邸」というべき独自の家を創りました。

九谷焼専門の美術館
石川辰九谷焼美術館
大塚寺古九谷の什器水鏡の美しい器とともに九谷焼の名産を鑑賞できる恒常ミュージアムです。当館でつくられた数多くの作品の展示に区別し、芸術品の展示で、九谷焼の魅力を伝えることができます。（橋立町から車で15分）

船乗りばかりの温泉と山中船
山中温泉の元温泉に建てた山中船は、山中温泉の歴史を伝える貴重な資料です。上流階級の船乗りが温泉に来た際には、手紙の「山中船」の四季の景が鑑賞できます。上流階級の船乗りが温泉に来た際には、手紙の「山中船」の四季の景が鑑賞できます。上流階級の船乗りが温泉に来た際には、手紙の「山中船」の四季の景が鑑賞できます。

北前船の里資料館 MUSEUM OF KITAMAE - BUNE



〒922-0554 石川県加賀市橋立町イセ1-1
TEL 0761-75-1250 / FAX 0761-75-2312
E-mail kitamae@feel.ocn.ne.jp
URL <http://www4.ocn.ne.jp/~kitamae/>



オエ
大きな船模型を展示し、柱や梁、物置に貴重な建材が用いられた30畳敷きの大広間



仏間
船主の屋敷に夏用・冬用として供えられた大小一對の仏壇を、当時そのままに展示しています



船絵馬館
地元加賀の神社に、航海の安全を祈願して奉納された絵馬を展示した土庫



このほか、船仏壇、祈禱札、蝦夷屏風、海図、船乗りの衣装、各種古文書などが展示されています。

